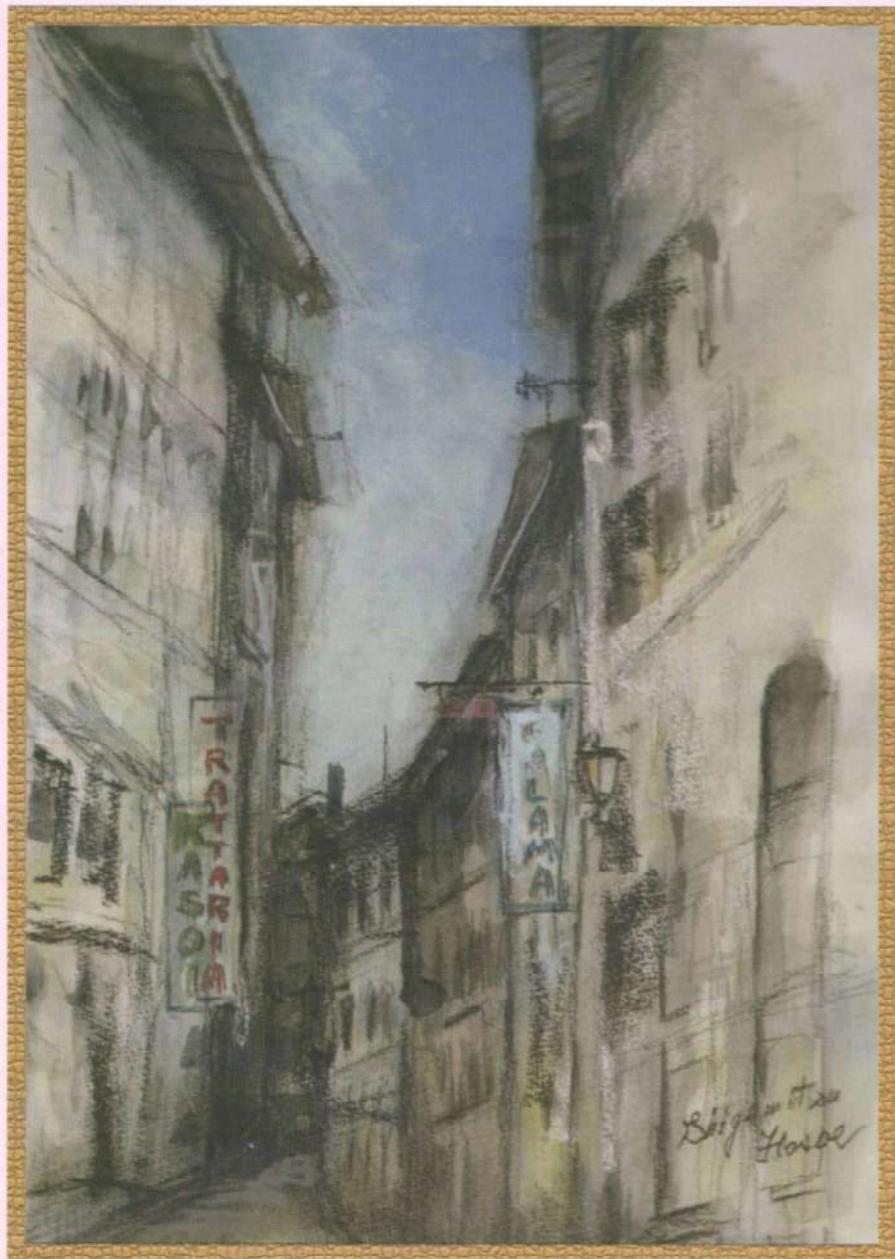


金華婦人会70周年記念誌

華影



姉妹都市「フイレンツェにて」

細江茂光前市長

表紙 題字と絵



金華婦人会会歌

作詞・作曲 鶩見 臣一郎

(一)

伊奈波の山の 峰おろし
さやかにすぐる 麓べに
われら婦人の たのしき集い
直き心 寛き愛
山の崇きを 仰ぎつつ
水の清きを 鑑とし
共に進まん 金華婦人会

(二)

長良の川の せせらぎの
きよらにひびく 岸の辺に
われら婦人の 明るき集い
ゆたけき心 深き愛

祝 辞



岐阜市長 柴橋 正直

このたび、金華婦人会が発足七十周年の記念すべき年を迎えたことに対し、心よりお祝いを申し上げます。金華婦人会は、昭和二十三年に発足して以来、七十年にわたって、地域に根差したさまざまな社会奉仕活動を活発に続けられ、大きな成果を挙げてこられました。これもひとえに歴代の会長様はじめ関係各位のご尽力によるものであり、改めて深く敬意を表するものであります。

さて、ここ最近は地震や大雨等の自然災害が頻発しており、岐阜市でも昨年は市内の公民館で避難所が何回か開設されました。平成二十八年に発生した熊本地震では女性目線での配慮が必要との考え方から岐阜県からも多く女性職員が派遣され、避難所運営において、女性目線でのきめ細やかな配慮に対し被災者の方から多くの感謝の声が寄せられたと聞いております。このように地域社会をはじめ様々な分野で女性の視点、能力が求められており、皆様に寄せられる期待は大きなものがあります。

金華婦人会の皆様におかれましては、日ごろから女性学級を通して、減災や環境・消費者問題といったその時代ごとの課題を的確にとらえ、解決に向けての学習をされてこられたほか、大仏フェスティバルや伊奈波盆おどり、敬老会といった様々な地域行事に積極的に参加され、地域の中で中心的な役割をはたしておられるところです。

さて、本市では、十年、十五年先を見据えた岐阜市の未来の姿「ひとつまち、集い交わる活力と笑顔あふれる成長都市ぎふ」の実現に向けて、様々な施策に取り組んでいるところでございます。その重点政策の一つに、「子どもファースト」を掲げ、未来を担う子どもたちの安心・安全を守り、魅力ある教育・子育ての環境整備を目指していきます。そのためには、地域の皆様のお力が必要不可欠でございます。今後も、岐阜市の地域のリーダーとして引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

金華婦人会七十周年おめでとうございます



岐阜市教育長 早川 三根夫

金華婦人会の創設七十周年、誠におめでとうございます。

婦人会の歴史をたどれば、糺余曲折があつたとしても、原点は平塚らいてう(雷鳥)にまでさかのぼるでしょう。先日、その平塚らいてうさんのインタビューの音声をNHKラジオで聴く機会がありました。

「婦人の会はいつまで活動が続きますか」という質問に対し、「世界が平和になるまで」と答えていました。婦人会の日々の足元からの地道な活動の積み重ねが、平和な世界につながっているのだなあと感じた次第です。「Think globally, Act locally」(思いは地球に活動は足元から)という国連などが使うスローガンは、そのことを示しています。近年の教育社会学の研究でも、あいさつの頻度、所属している組織数、隣近所の知り合いの数などと、地域の犯罪発生率などと相関関係が強いことが分かつてきました。そうした地域の力を、ソーシャルキャピタル(社会関係資本)といつて、重要視しています。

また、日本でも子供の貧困が社会問題化していますが、貧困家庭の中には優れたパフォーマンスを示す子供の家庭の共通点としては、ポジティブな親の態度が大きく関係していることが分かつてきました。

さらに地域の教育力は、親の代わりになりうることまでわかっています。多くの地域の大人が、挨拶と励ましを通して、「一人の子供に声をかけることを「集合的有用感」といって、子供達にたいへん良い影響があるのです。「あなたを大切にしているよ」という地域の大人のメッセージが、「ふるさとが大好き」という子供の気持ちにつながります。

金華婦人会の日ごろの活動は、そうした地域の教育力を、意識的無意識的に發揮されて、七十年、「金華が大好き」という子供達を支え続けていただきました。

金華のように、地域を教育の場として、大人が地域の教育者として自覚しつつ子供たちに接し、集合的有用感を高めていけるよう、教育委員会も取り組んでまいります。皆様の活動にはそうした価値が脈々としてあり、引き続いてきたことに感謝を申し上げ、今後の益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

金華婦人会七十周年に寄せて



岐阜市議会議員 松原 和生

金華婦人会の創立七十周年、誠におめでとうございます。

戦後間もない設立から、きっと様々な出来事や困難、環境の変化を乗り越えられての歴史であろうと思います。また、岐阜市発祥の地という重みのある地域ゆえの大変さもあつたかもしません。そうした中、金華のまちに多くの功績を残され、人々の心に温かい記憶を刻んでこられた歴代役員を始めとする皆様方の努力に、心から敬意を表すとともに、改めて深く感謝を申し上げます。

最近二十年間の金華婦人会の活躍ぶりは間近の距離から拝見していますが、主催行事はもちろん、各種団体の主な地域行事でも必ずお手伝いの真ん中で協力され、言わば金華の人々がふれあい、笑顔の集まる場面には必ず婦人会のお支えがある…、本当に尊く有り難いことだと思っています。皆様の活動は間違いなく市内トップであると確信しております、市職員や議員同士で出身地域の話題をする時、その活躍ぶりを自慢話にさせてもらっています。

男女平等社会、女性の地位向上への取り組みが進んできました。岐阜市も平成十四年に「男女共同参画推進条例」を制定、平成三十年に「第三次男女共同参画基本計画」を策定するなど男女共同参画社会の実現を目指して頑張っています。一方、女性らしさや女性ならではの素晴らしさを讃えることまでも否定するような、行き過ぎたジェンダーフリーの主張には、日本人として少し問題も感じています。良い意味で女性の得意な部分、日本の伝統・文化・道徳と新しい時代の女性像を上手にミックスさせながら、地域のリーダーシップを取つておられる皆様の活動を、是非お手本の一つにしたいと思っています。

金華婦人会が、これからも輝き続けられることを心から願っています。そのため、私にお手伝い出来ることがあれば何なりとお聞かせいただきたく存じます。地域を愛する仲間として精一杯に応援させていただくことをお約束申し上げ、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

金華婦人会創立七十周年おめでとうございます



岐阜市議会議員 高橋 和江

歴代の会長さん始め役員、会員の方々の連携でこの日を迎えられました。七十周年、金華の誇りです。先日の創立七十周年記念式典にはクラブ活動の先生方もお越し下さり、来賓席でにこやかにお祝いして下さつていきました。フォーケダンス、茶道、華道、手芸、民踊、書道とクラブも多く、文化祭ではその成果が披露され地元の方々の秋の楽しみにもなっています。婦人会活動はしつかりと地元に根付いていることを感じます。

文化面だけでなく、資源ごみの回収、自治会と共に敬老会のお世話役、そして自主的な学習の機会としての女性学級、様々な地域の行事にもにこやかに協力されていて、そういった皆様のお人柄に囲まれこの地域に暮らせる幸せを感じています。

婦人会の皆さん地域の方々への温かな目線を感じることの一つは「おひとり暮らしの方々への手作り料理のおもてなし昼食会」です。折り紙でおられた姫人形の箸置きも手づくり、もつたいたなく皆さんお土産にしてらっしゃる姿に微笑ましさを感じます。最近は男性の参加も多くなってきているように感じます。

少子高齢社会の中、これからもお一人様は多くなります。賑やかにお話しすることが楽しい女性の輪の中に、自然体で男性の方ももつと加わつて下さる、そのきっかけにこの昼食会がなつたらとも思います。性別にかかわりなくお互いに地域で支え合うことがこれまで以上に必要になつてきています。生活者の視点で活動を広げている婦人会の皆さんとの知恵などを今後も地域で広げて頂き、住みよい地域づくりにお力を頂けたらと期待しています。

先日成人式のお祝いの会場で親しい若者が声をかけてくれ、いつも金華山が見られ当たり前のようと思つていたが大学の関係でここを離れ、金華が恵まれた環境であることを改めて感じてます。と話してくれました。金華は自然に恵まれ、古い歴史遺産が多くある中で、子育てがされています。この子ども時代の思い出に婦人会も関わっている大仏フェスティバルをあげる若者もいました。新年のお茶会のお手伝いが楽しかったと話してくれる女性もいました。婦人会の皆様のご尽力が子育てにも生かされていることを感じます。

これからも世代を超えた交流が金華の地域で深まりますよう婦人会のこれまでの実績へのさらなる積み重ねに期待しています。

私は微力ですが仲間の会員として今後ともよろしくお願ひします。

祝 辞



金華自治会連合会会長 高木 幹雄

この度、金華婦人会が創立七十周年を迎えたこと、誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。顧みれば、戦後間もない昭和二十三年に創立されて以来七十年、まさに地域の核となり地域の発展、岐阜市の発展に貢献されてこられた事に敬意を表したいと思います。

昭和二十三年といえば終戦後の混乱期の真っただ中、何をするにも事欠くなか、金華婦人会が発足し、生活の向上、婦人の地位の向上等に努力して来られた先人の皆さん方の活動は大変なものであつた事と思います。戦後のベビーブームの時代には、子育てに忙しい親さんたちの参加に苦労され、「もはや戦争は終わつた。」と言われるようになつた時代、また、一億総中流意識の社会と言われた時代、その様ななか、それぞれ時代にあつた活動をしてこられた事、大変さの中にも充実したものがあつた事と思います。

特に自治会連合会をはじめ、各種団体の諸行事に積極的に参加されるとともに、いろいろの面で支援をおします活動してこられた事にはお礼の言葉もございません。

今日では、時代も変わり、子育てが終わり、手のあいだ若いご婦人たちは、先ずは働きに出るという時代になり、女性の社会進出にともない、若い層の入会が減り、婦人会員の高齢化も避けられない時代となつてまいりました。会長さんはじめ会員の皆さん方も、いかにこのような状態を打破していくのか、日夜考えをめぐらせておられる事とは思いますが、なかなか現状は厳しいものがあるものだと思います。この様ななかでも、若い方々が興味をもてれるような事、例えば英会話教室、スマホ教室、歴史講座などを取り入れ、「新しい婦人会」というイメージを作りだして行く事も必要ではないかと私は思います。

いずれにしても、金華婦人会の、この七十年という長い活動は、まさに金華の歴史であり金華の財産であるといふ事に間違いはありません。この歴史と財産を大切にしつつ若い感性で時代に合つた「婦人会」に発展していくことを欲しいと切に願っています。

最後になりますが、金華婦人会のますますの発展をお祈り申し上げますとともに、会員の皆様のご活躍、ご健康を祈念いたしまして、金華人会が創立七十周年を迎えた事へのお祝いの言葉とさせていただきます。

誇りと品格そして笑顔



岐阜小学校校長 杉原 和

十二月八日、歴史博物館講堂にて「金華婦人会七十周年記念の会」が盛大に開催されましたこと、心からお祝い申し上げます。戦争の傷跡がまだあちらこちらに残つていたであろうその時代に、婦人会を立ち上げられたご苦労は、いまの私に想像することさえできません。七十年という長きに渡つて婦人会活動を継続され、金華の文化、すなわち岐阜の文化を創造してこられた功績も計りきれません。ただただ敬意を表する次第です。

岐阜小学校の子どもたちは、廊下で立ち止まり、おじぎをして挨拶をします。登校時、道の向こうから「校長先生、おはようございます。」とさわやかな挨拶をします。通学路のゴミを拾つていると「ありがとうございます。」と声をかけてくれます。給食後に食器を返して配膳室を出る時、両手を合わせて「ごちそうさまでした。」と言います。トイレのスリッパを揃えていると、用を足した子が「ありがとうございます。」と言つて、私の上履きの向きを変えてくれることもあります。全校児童の前に立つと、全員の瞳が私の瞳の中に入つてきます。人なつっこい笑顔も、心の中まですうつと入つてきます。こちらも知らず知らずのうちに笑顔になります。

こうした姿は、いつも婦人会のみなさんと重なります。毎年、文化クラブの子どもたちが、お茶のお運びを教えていただきます。文化祭や初釜でお客様に慎重にお茶をお出しする姿は、〇〇年前のみなさんを見るようで、心温まります。子どもたちから品格があふれ出す瞬間でもあります。いつか、この子らがとびつきりの豚汁を作ると思うと笑みがこぼれます。

この地を愛し、この地に誇りをもち、笑顔で活動し続けて来られたことが、たくさんの花を咲かせました。この町で育つた多くの方々に感じる誇りと品格、そして笑顔の出発点は七十年前に遡ります。岐阜小学校の校歌に、「幸せに向かつて 新しい風が吹く」という歌詞があります。これからも、みなさんからの風を浴び、人々が幸せになり、岐阜が発展することを心から期待申し上げます。七十周年、誠におめでとうございます。

あいさつ



金華婦人会会長 杉山 秀子

金華婦人会創立七十周年を迎えることが出来ましたこと大変喜ばしいことでございます。

巷では少子高齢化が進み、婦人会そのものが存続するのが難しい時代になりましたが、会員皆さまのご指導、ご協力のおかげで続けていられるのだと思っています。会員の皆さまがたにお世話になつておる分別回収の収益金と奨励金のお陰で会費も上げることなく婦人会活動を行うことが出来ますのもそのおかげだと感謝いたします。十年間ためたお金で七十周年記念行事が盛大に行なうことが出来ました。又、金華公民館へ今回も大型テレビと掃除機と音響機器を寄贈させていただきました。その時柴橋市長様から感謝状をいただきました。金華婦人会は、金華山と長良川に面し、岐阜市発祥の地として知られ活力とぬくもりに満ちた地域つくりを重点テーマで、四つの目標を持つて活動しています。

- 一、婦人の地位向上と確立をめざし地域に根ざした組織の輪を広めましょう。
- 一、環境保全のため身近な生活を見直しましょう。
- 一、生きがいのある生活をするために進んで活動に参加しましょう。
- 一、女性一人一人が自覚し、住みよい町づくりに協力しましょう。

毎年行っています初詣、今年は名古屋の八事に移築されました金華婦人会と名前を付けられました初代会長の日下部邸についたお茶室「竹翠亭」で抹茶をいただき、興正寺、大須観音へ行つてきました。これからも【期待される婦人会・親しまれる婦人会・必要とされる婦人会】として女性の視点で地域に根ざした活動を各種団体とも協力しあつて末長く続けていくことを祈念し、会員皆さま方のご指導、ご協力をよろしくお願ひ申しあげます。

金華婦人会 70周年記念の会

【式次第】

1. 開会のことば
2. 金華婦人会 会歌
3. 黙祷
4. 会長あいさつ
5. 目録贈呈式
6. 感謝状贈呈式
7. 来賓祝辞
岐阜市長 柴橋 正直 様
金華自治会連合会会長 高木 幹雄 様
岐阜市市議会議員 松原 和生 様
岐阜市市議会議員 高橋 和恵 様
8. 来賓紹介
9. 感謝状授与
10. 万歳三唱
岐阜小学校教頭 石田耕太郎 様
11. 閉会の言葉
《休憩》
アトラクション
婦人会フォークダンス・民踊クラブ
歴史博物館
学芸員の展示説明
美濃の茶陶一美濃古陶会コレクション
昼食（歴史博物館講堂にて）
歴史博物館展示見学
【記念講演】
演題 「花柳界で学んだ
福をもたらす小さな心がけ」
講師 随筆家 千代里 様

【来賓ご紹介】

- 岐阜市長 柴橋 正直 様
岐阜市教育長 早川三根夫 様
金華自治会連合会会長 高木 幹雄 様
岐阜市市議会議員 松原 和生 様
岐阜市市議会議員 高橋 和恵 様
岐阜小学校教頭 石田耕太郎 様
岐阜女性の会会長 河野美佐子 様
金華ふれあいクラブ会長 吉田 好成 様
社会福祉協議会金華支部長 松枝 秀顕 様
中水防団金華分団団長 倉地 信也 様
中消防団金華分団団長 林 正樹 様
中交通安全協会金華支部長 安藤 武夫 様
金華体育振興会会长 富田 康一 様
金華青少年育成市民会議会会长 金森喜久雄 様
赤十字奉仕団金華分団長 武藤 起巳 様
金華公民館主事 鍛治谷聖子 様
前金華婦人会会长 村上 鮎子 様
前金華婦人会副会长 村瀬 竹子 様
前金華婦人会副会长 堀 京子 様
前金華婦人会副会长 田中 万寿枝 様
前金華婦人会副会长 高木 和子 様
前金華婦人会副会长 吉田 みよ子 様
前金華婦人会副会长 棚橋 久美子 様

【クラブの先生】

- 茶道クラブ 川瀬宗汎 様
華道クラブ 奥田春翠 様
フォークダンス 渡辺雅子 様
手芸クラブ 大谷容子 様
民踊クラブ 黒川隆枝 様
書道クラブ 野田翠汀 様

【感謝状授与者】

- 川出 華子様 安藤 厚子様
山田 いく様 武藤まさ子様
川地千津子様 小松 時子様



△金華婦人会70周年記念式典 岐阜市の旧金華小学校区の女性住民らでつくる「金華婦人会」の創立70周年記念式典が、同市大宮町の市歴史博物館であった。杉山秀子会長が「これからも女性の視点から地域に根差した活動を続けていく」とあいさつした。記

念事業として大型テレビと音響機器を金華公民館に寄贈し、杉山会長が同市の柴橋正直市長に目録を手渡した。式典には、600人の婦人会メンバーのうち200人が参加した。東京・新橋の元ナンバーワン芸者のエッセイスト千代里さん(各務原市)の「花柳界で学んだ福をもたらす小さな心がけ」と題した記



目録を柴橋市長㊨に手渡す
杉山会長=8日、岐阜市大宮町の市歴史博物館で



金華婦人会と地域のかかわり

■大仏フェスティバル

夏の行事として「大仏フェスティバル」の幕は開きます。婦人会は、行灯張り・バザー・盆踊り等に参加協力をしています。事前に子供会・ふれあいクラブ・婦人会・狂俳クラブ・一般から集められ行灯の絵を木枠に張ります。

大仏フェスティバルの第一日目が婦人会のバザーと盆踊りの担当です。五平餅・団子・たこ焼きは「美味しい」と評判で大量に買われる方もみえます。スーパー・ボール・氷・ラムネ・ポップコーンは子供達に大人気で小銭を握りしめて何度も来てくれます。

日が落ち行灯に灯が点ると民踊クラブを中心には盆踊りの輪が広がります。浴衣姿の子供さんも加わりあつという間に庭いっぱいに賑やかになります。

この様に地域の方々と交流を深める行事に参加させて頂く事は大切な事だと思います。そしてこれからも継続していくべきだと思います。



■伊奈波盆踊り

毎年八月十四日、十五日に行なわれます恒例の伊奈波盆踊りが始まります。

第三ブロックと婦人会全員で伊奈波様に安全祈願のご祈祷をしてもらいます。「長良川民謡会」の皆様のおはやしが景気よく鳴り響くと「伊奈波音頭」「かわさき」「岐阜城音頭」「信長音頭」など夏の夜を楽しみます。踊りの輪が最高潮になる八時頃には、伊奈波提灯まつりの赤丸提灯が竹竿に燈され、ゆらゆらと何となく幻想的なお祭りです。この金華だから味わえる昔からの伝統あるお祭りです。

広場は人で埋まり、恒例のバザーもポップコーン、ラムネ、トコロ天、かき氷、など大勢の子どもさんで行列ができました。大盛況です。

九時まで夏の暑苦しい夜を踊り楽しいひと時です。



■敬老会

婦人会に伝わる資料では昭和二十六年五月三日最初に開催され翌年には当時の広報会、育友会、青年団、消防団、婦人会、民生委員会共催で婦人会長が執行委員長となつて九月十五日開催された記述があります。該當者二百四十二名、ご夫婦お揃い七組、経費三八、五〇四円五〇銭、アトラクションは仕舞をかわきりに小学生の器楽演奏、舞踊、バレーとあります。その後共催の線がうすれて婦人会主宰の形が続き昭和四十八年資料には該當者四百名、ご夫婦お揃い二十七組、経費一六六、一五〇円と記されています。

近年は自治連合会と婦人会が協力して開催されていて、八月の該當者への案内封書作り記念品や粗品の準備、当日の役割分担と手伝いを引き受けております。

平成三十年度は該當者九九六名、九月十七日の敬老会は一八〇名の方が出席され、副市長はじめ各種団体代表臨席のもと開催されました。また金婚式をお迎えの九組のご夫婦もお祝いを受けられました。アトラクションは木挽太鼓、フラダンス、民踊、ふれあいクラブのコーラスと多彩、出席の皆様に楽しんでいただき佳き祝日となりました。

敬老の日には資料によりますと、様々な伝説等があり、元正天皇が養老の滝の靈験から年号を養老と改元全国の高齢者に賜を配られたとか聖徳太子が福祉施設にあたる非田院を建立されたとかそれらが九月だつたとか。また

終戦二年後兵庫県旧野間各村の若い村長が「年寄りを大切にし、知恵を借りて村づくり」をと農閑期の良き日を選んで「としよりの日」と定め敬老会を開いたことが全国へ広がつて、一九六六年「敬老の日」として祝日になつたとか。「子供叱るな己が来た道、年寄り笑うな己が行く道」老いも若きも互いを分かりやすい思いやり助け合いの心を大切に、良き日々をすごしていただくことを願います。



■おひとり暮らしご招待の会

金華公民館で毎年秋に開かれている「おひとり暮らしご招待の会」を金華地区でおひとり暮らしをする七十歳以上の方々に参加していただき、婦人会役員の手作り料理の食事会を行なっています。例えば、金華小学校屋上で採れたサツマイモのつるを利用してキヤラブキ風に煮たり、カルシウムを取り入れた乳製品を加えたり、お一人では作り難い茶碗蒸しを作り、料理教室で勉強した献立を利用して作ります。

出来上がったおかずを見栄えよく盛り付けて、手作りのお弁当が完成。来賓の方々にも出席していただき和気あいあいと食事を楽しんでいただいています。

食後は保健所の先生による講話を二十分位していただき、続いて手先を使つて物作り、お抹茶を飲んでいただき約二時間の予定で行なっています。「家にこもらず、外へ出かけて、おしゃべりやおしゃれに親しむきっかけになれば」と企画しています。



■初釜

金華婦人会は先輩たちが受けついでこられた松尾流の初釜を、毎年一月第三日曜日に岐阜公園内華松軒にて行なっています。市長様始め各種団体の方達をお迎えし、多くの会員の皆様にお越しただいています。

前細江市長に聖徳太子のお言葉「和以為尊」を婦人会のために書いていただいた掛け軸を床の間に掛け、「結び柳」と「紅白の椿」に「つくばね」を生けます。お点前は、その年によつて棚を変えていきます。

お運びには岐阜小学校四・五・六年生の文化クラブの子に手伝つていた子に手伝つています。又、水屋は婦人会の有志の方達にお願いしています。

日本のお文化を伝え、守つて行く事が大切だと思一天でした。



各委員会

■女性防火クラブ

森 清美

女性防火クラブは昭和五十二年四月に結成されました。クラブ会員は婦人会会員六〇〇名の皆様です。

- | | |
|-----|---------------|
| 五月 | 市中消防団特別点検 |
| 六月 | 女性防火クラブ指導員講習会 |
| 八月 | 県女性防火クラブ運営協議会 |
| 九月 | 市消防協会研修会 |
| 十一月 | 消防研修会 |
| 十二月 | 年末夜警（金華分団） |

以上が年間の活動内容です。

消防署の指導で家庭でできる防火と初期消火の研修を受けたり講演などで防火知識を習得し、地域の皆様に役立つ様に、普及向上を目指しています。
又、校区の防災訓練では応急担架作成の指導や非常食の炊きだしの実演をし、参加者全員に配布しています。

全国統一防火標語

忘れない？

サイフにスマホに
火の確認



■中交通安全協会

森 みち子

毎年発表される安全スローガンもあります
しんごうが あおでもよくみる みぎひだり
(平成二十八年)

身につけよう 命のお守り 反射材

(平成二十九年)
行けるはず まだ渡れるは もう危険

岐阜中地区交通安全協会金華支部（警察所屬）女性部
は婦人会役員で協力させていただいております。
春、夏、秋、年末に交通安全県民運動が十日間位実施
されます。その初日、岐阜公園交差点と伊奈波交差点に
て七時三十分から約一時間位街頭活動に立ちます。
その他の活動として

一、小学校入学式当日校門前で警察の方と新入生安全

一声運動

二、岐阜小学校児童への自転車教室

三、高齢者家庭訪問（毎年プロジェクトを定めて交通安全
啓発活動）反射材などのグッズ・チラシ等をお渡
ししながら広報活動

四、交通法令講習会、優良運転者表彰式

五、高齢者交通安全大学校（平成二十七年五月）開校

高齢者自転車教室

シルバードライビングスクール（平成二十七年・
二十八年に実施）

CRT 運転適性検査

寸劇による交通安全教室

交通安全ピカピカ教室

セフティスクール等に参加
その他理事会・街頭活動等に出席



スローガンの一部ですが婦人会にピッタリのを選んでみました。毎日気を配りながら安全に暮らしたいと思います。

■岐阜市交通安全女性

高橋 良子

交通安全女性は日常の中で愛の一聲運動を推進しています。

交通安全女性は岐阜メモリアルセンター周辺の歩道で通行者に「事故に気をつけてくださいね」と呼び掛けました。

当日は高齢者体育大会が開催されたので啓発活動を行いました。

おそろいの黄色の帽子、信号機のデザインのエプロンをつけて、会場に足を運ぶ参加者に声を掛けました。

岐阜市交通安全市民大会が文化センターにて開催されますので参加者に交通事故に遭わない様願いをこめて手作りの反射材つきストラップ（レッサーパンダ）を四百個を作り渡しました。

毎年十二月には高齢者家庭訪問をいたしました。

金華交通安全協会の方と一緒に交通事故にあわない様にチラシ・反射材等をもつて訪問をしました。

【街頭活動(高齢者体育大会)】



心込め安全ストラップ

岐阜 ボランティア女性制作



岐阜市のボランティア「市交通安全女性」は十九日、市役所で、十一月の交通安全市民大会会場で、参加者に配る反射材付きストラップの手作りを始めた。参加した十六人が、黄色の布を裁断するなどして、レッサーパンダを作った。口や耳の部分に接着剤で反射材を付けた。市民大会で四百個を配る予定で、十月も製作に取り掛かる。

ストラップ作りは初めての取り組み。同女性連絡協議会の坪内和子会長（六九）岐阜市琴塚）が発表した。「かばんなどにストラップを付けていただき、事故が減ってくれれば」と話している。市民大会は十一月二日午後一時半、市文化センターで開かれる。（田井勇輝）

■消費生活委員会

高橋 紀久子

消費生活委員会の発足は資料によりますと一九七〇年（昭和四十五年）以後皆様のご理解ご協力のもと活動を続けて五十年になります。当初独自で始めた雑ビン回収や各ご家庭で眠っている品物を提供していただき実施した不用品交換会は廃品回収から資源分別回収へと内容やルールなど変わりましたが、限りある資源を大切にまた地球環境を守ることをテーマに年六回実施する活動へと引き継がれています。

ゴキブリダンゴ作りも活動のひとつ。最近は手軽で重宝な殺虫剤がありますが、毎年春役員のご協力で注文数を作り配布しています。

この十年間の資源分別回収実施に伴う収益金は総額三百三十八万九千五百五十五円となり婦人会の諸活動を支える原動力になつております。会員の皆様地域の皆様に感謝申し上げ今後もご理解とご協力をお願い申し上げます。意義ある消費生活委員会活動を目指します。



■健康生活委員会

河瀬
佐智子

健康生活委員は五月の市民運動会が一番の仕事です。婦人会のバザーで売るラムネ・ジュース等の仕入れと当日の販売です。婦人会地区長さん達との販売は楽しいです。

又、前日の土曜日の午前中にフォークダンスと伝統ある信長音頭をインリーダーと P.T.A のお母さん方に教えます。

当日は市民運動会に大勢の子供達とその親、婦人会が二重の大きな輪になつて踊ります。

又、プログラムにそつて婦人会の出場の誘導もあります。市民運動会にはなくてはならない委員会です。



2016/05/22



2016/05/22

■広報委員会

西野
峰子

金華婦人会七十周年を迎へ、この記念すべき年に婦人会委員として関わつていられるのは幸せに思います。

広報委員として毎月一回の「華影」を発行し、金華地区の皆様にお届け出来る情報誌として頑張つきました。

この「華影」は今は亡き蒔田浩岐阜市長に三十一年の記念に揮毫を頂き、日展入選の前金華小学校校長田中利雄先生より「華影」の篆刻を頂きました事が記念誌に載つておりました。この長い七十年周年という歴史ある「華影」を受け継いだ広報委員会としては絶やすことが無いように続けて行くのが、私たちの責任だと思います。

「華影」によつて地区の皆様に婦人会活動を理解して頂き、女性学級・初詣・初釜・おひとり暮らしご招待の会・など魅力ある婦人会、誰でも気軽に参加できる婦人会をこれからも「華影」により発信して行きたいと思います。発行以来五百五十三号を発行致しました。これからも岐阜市で一番長く続いている広報誌として頑張つて発行して行きたいと思います。原稿の投稿をよろしくお願ひ致します。



3月の予定表			
曜日	午前中	午後	夜
月曜日	午前休業	午後休業	午後休業
火曜日	午前休業	午後休業	午後休業
水曜日	午前休業	午後休業	午後休業
木曜日	午前休業	午後休業	午後休業
金曜日	午前休業	午後休業	午後休業
土曜日	午前休業	午後休業	午後休業
日曜日	午前休業	午後休業	午後休業
祝日	午前休業	午後休業	午後休業
月曜日	午前休業	午後休業	午後休業
火曜日	午前休業	午後休業	午後休業
水曜日	午前休業	午後休業	午後休業
木曜日	午前休業	午後休業	午後休業
金曜日	午前休業	午後休業	午後休業
土曜日	午前休業	午後休業	午後休業
日曜日	午前休業	午後休業	午後休業
祝日	午前休業	午後休業	午後休業

廿性學級

女性学級

七十周年記念誌発行にあたり、すばらしい諸先輩の方々の中から一年生の私が書かせて頂くのは光栄でありますがとてち恐縮です。

女性学級は、婦人会員の中により一層の知識を深め教養を高めようと思つてゐる人が学級生となり學習しております。現在の生徒は一二〇名です。

一年間の活動内容は恒例となりました体力測定。寄せ植え

料理教室などがあげられますか。その他に会員相互の親睦をはかるために研修旅行、又、講師をお招きしての講話などを実施しております。毎回楽しかった、大変勉強になつたと高評価を得ております。これからも一人でも多くの方々に学級生になつて頂き、益々充実した内容の女性学級を目指していきたいと思つております。

平成二十一年度

平成二十五年度

3	2	1	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3					
8月 25日	7月 21日	6月 20日	5月 19日	6月 6日	8月 27日	9月 25日	10月 15日	11月 25日	10月 30日	10月 1日	6月 18日	11月 12日					
骨密度・体組成測定(体脂肪・筋肉率・基 歴史博物館敷下浩先生 「信長居館を考える Part 2」	平成二十八年度	開校式 講演会「信長居館を考える」 歴史博物館敷下浩先生 「信長居館を考える Part 2」	一日研修(浜岡原子力発電所見学) 講座「放射能って何だろう」中部電力職員 骨密度・体力測定 森永クッキング教室 秋の寄せ植え講習会 細江由喜子先生 一日研修(東海道関宿・長寿寺・永源寺)	開校式 講演会「現代社会と認知症」 下村晃先生 一日研修(なばなの里・御在所・アクアイ グニス) 筋トレ体操・骨密度・体脂肪測定 森永クッキング教室 秋の寄せ植え講習会 細江由喜子先生 閉校式 廃油で石鹼作り	平成二十七年度	6月 19日	7月 29日	8月 28日	10月 1日	10月 30日	11月 25日	12月 7日	10月 30日	10月 22日	10月 30日	10月 30日	森永クッキング教室 秋の寄せ植え・ダンボールコンポストア フター講座 一日研修(渡岸寺観音堂) 「三六五日アルツハイマー」社協と協賛講座
8月 25日	7月 21日	6月 20日	5月 19日	6月 6日	8月 27日	9月 25日	10月 15日	11月 25日	10月 30日	10月 1日	6月 18日	11月 12日	10月 22日	10月 30日	10月 30日	森永クッキング教室 秋の寄せ植え・ダンボールコンポストア フター講座 一日研修(渡岸寺観音堂) 「三六五日アルツハイマー」社協と協賛講座	

6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1	6	5	4
3月1日	12月18日	11月13日	6月22日	5月24日	平成二十一年度	30年2月13日	12月12日	11月10日	8月29日	6月9日	5月16日	12月3日	10月13日	9月27日
えり	岐阜小石田耕太郎教頭先生	寄せ植え講習会	本中堂）・琵琶湖めぐり	一日研修（比叡山延暦寺至宝展根	開校式・講話「元気で楽しい地域 生活を」柳井妙子先生	森永クッキング教室	骨密度・体組成測定（体脂肪・筋 肉率・基礎代謝）	森永クッキング教室	骨密度・体組成測定（体脂肪・筋 肉率・基礎代謝）	寄せ植え講習会	閉校式（マララDVD観賞	小杉原和校長先生の講話）	倉氏遺跡）	一日研修（忍童博物館・一乗谷朝
3月	12月	11月	6月	5月	4月	30年	12月	11月	8月	6月	5月	12月	10月	9月
えり	岐阜小石田耕太郎教頭先生	寄せ植え講習会	本中堂）・琵琶湖めぐり	一日研修（比叡山延暦寺至宝展根	開校式・講話「元気で楽しい地域 生活を」柳井妙子先生	森永クッキング教室	骨密度・体組成測定（体脂肪・筋 肉率・基礎代謝）	森永クッキング教室	骨密度・体組成測定（体脂肪・筋 肉率・基礎代謝）	寄せ植え講習会	閉校式（マララDVD観賞	小杉原和校長先生の講話）	倉氏遺跡）	一日研修（忍童博物館・一乗谷朝

●初詣

一年間の家内安全・健康を祈念して続けられている初詣の十年間

- | | |
|-------|---------------------|
| 二十一年度 | 唐招堤寺・薬師寺 |
| 二十二年度 | 岡崎神社・祇園 |
| 二十三年度 | 日吉大社・プラネタリウム |
| 二十四年度 | 遠州三山(油山寺・可睡斎・尊永寺) |
| 二十五年度 | 伊勢神宮内宮・おかげ横町 |
| 二十六年度 | 伊勢神宮外宮・月夜見宮・斎王歴史博物館 |
| 二十七年度 | 神明神社・皇大神社・椿大神社 |
| 二十八年度 | 安倍文殊院・おふさ観音・唐招堤寺 |
| 二十九年度 | 元善光寺・光前寺 |
| 三十年度 | 興正寺・大須観音・徳川美術館 |



クラブ活動

●茶道クラブ 野田 八重子

茶道クラブは、松尾流で新しく迎えた川瀬宗汎先生と楽しくおけいこをしていきます。

月二回で第一と第三月曜日の午後一時三十分から四時三十分頃までです。四季を楽しみながら、日頃の忙しさを忘れて、ゆつたりした時間が流れます。

小学生六年生が体験学習をします。お茶の作法として箸のとり方置き方、お茶碗の持ち方運び方です、痛い足をさすりながら。

初釜や文化祭には、四年五年六年生のクラブの方々によつて、お運びをしていただきております。回を重ねることにのみ込みがよくなつたようです。我々にとつてかけがいのない助人です。この子たちの将来に少しでもやつて良かつたと思つてももらえたらと思つています。



●金華フォークダンスクラブ

加藤 美佐子

現在のフォークダンスクラブは平成十六年度から渡辺雅子先生に教えて頂いております。

生徒は十名余りです。毎月二回、第一と第三の水曜日に世界各地の民踊を教えて頂きます。午後一時三十分から三時迄。毎月千円の会費を頂いています。

文化祭と敬老会での発表を目標に練習して来ましたが最近は、イベントの変更もあつたり生徒の高齢化もあつたりで、先生にお願いしてもつぱらシルバー向けの覚え易い曲を選んで頂いています。

練習の後半はティータイムを取り、もっぱら認知症予防?と称しておしゃべりに励んでいます。しかし、身体を動かす事は衰えて来た筋肉や「脳ミソ」の活発化に役立つのではと期待して練習に励んでおります。皆様一度見学に来て下さい。



●華道クラブ

森 三津子

年一回の文化センターでの生花展、高島屋での生花展、見事な先生方の作品を拝見させて頂き、感銘を受け長く生活に取り入れ頑張つていこうと思います。

金華公民館で婦人会の総会、文化祭、には全員が参加し、会場に花を添え、皆様に喜んで頂きますよう校区にお住まいの奥田先生と共に、楽しく今の生活に合った生花を学んでいます。毎回、一足早く季節を感じる新鮮で、めずらしい花材が入荷し、「生花」「盛花」「自由花」の作品に仕上げます。

しつかり長時間咲き続けてくれますので、楽しんで居ります。どうぞお越しください。



● 民踊クラブ 河瀬 佐智子

民踊クラブは、毎月第二と第四金曜日午後一時三十分からけいこします。

日本全国の踊りを色々教えていただき、敬老会、文化祭に向けてけいこをしています。

御指導して下さるのは黒川隆枝先生です。

以前教えていただいていた津田美智子先生は婦人会六十周年以前から長期に亘りご指導いただきましたが体調を悪くされ、先生の紹介で黒川先生になり早四年になります。黒川先生は津田先生より若くやさしい先生ですが、舞台発表が近くなりますとともにきびしく、的確に教えていただけます。

昨年の文化祭「川口小唄」はしつとり、「ダンシングヒーロー」は活発でとても楽しかつたです。又、七月の大仏フェスティバル、八月の伊奈波盆おどり等、揃いのゆかたで参加します。

日頃のおけいこでは踊りを覚える事で脳の活性化もよくなり軽い運動にもなります。けいこが終われば各自で持つて来たお茶とクラブで用意したお菓子で英気を養います。ほのぼのとした民踊クラブ、これからも長く続くといなと願っています。



手芸クラブ

高橋 良子

手芸クラブは大谷容子先生に御指導をしていただき、月一回第三金曜日に行っています。作品は大きなタペストリー、手さげカバンやかわいいポーチ、四季の花、えと、ブローチなどです。又、布や柄・色・形等で出来上がった作品は種々様々で、とても楽しい時間を過ごしています。



2018/10/12



2018/10/12

●書道クラブ

田中 ゆう子

書道クラブでは野田翠汀先生のご指導のもと、第二、第四土曜日の月二回、午後一時三十分から第二会議室で皆さん和気あいあいと練習しております。

毛筆の方はご自宅で書いてきた楷書、草書、行書を先生に丁寧に添削していただき、線の引き方、点の打ち方はねの方向、かすれの状態などをチェックしていただき次回の参考にします。

かな、ペン字の方も一生懸命練習し、協会の昇級試験に挑戦する人もおられます。

公民館の秋の文化祭に向けて、一作品でも多く、と真面目にそして和やかに一時間半を過ごします。部員も高齢化が進みましたが、先生がいつもおっしゃる言葉：「ここに来れることが幸せ、続ける事が大事」を胸に刻み、新しい会員さんを待ちたいとおもいます。



● お料理クラブ

丹羽 淳子

お料理クラブでは年に三回「料理実習」を開催しています。

毎年開催する森永製品使用の講習会はご好評を頂いておりますが、実習で学んだデザートなどは「文化祭」のときや、「ひとり暮らしご招待の会」の時にも活かされたりしています。

なお、そこでは毎回目新しい乳製品の活用の仕方も学んでいます。

食生活改善推進委員（ヘルスマイト）の方からは、生活習慣病を予防し簡単に出来て美味しい料理の仕方も教えてもらっています。

実習した華寿司は、その名のように見た目も華やかなお寿司になりました。又、減塩のポイントは、麺類は汁を残す。単品は避けて品数の多い物を選ぶ。味噌汁は薄味に。味にメリハリを付けるためにダシや香辛料を上手に使う等ですが、とりわけコクや旨味がある牛乳を使うと減塩効果があるため、高血圧の予防効果があるうえに食後の血糖値上昇を穏やかにし、糖尿病や認知症の予防に幾分でも役立つと言われているようです。

これからも、美味しく、しかも生活習慣病予防にも役立つお料理を実習していきたいと存じますので、引き続き皆様方のお料理クラブへのご参加をよろしくお願ひいたします。



創立 61 年～ 70 年にいたる役員

六五四三二一 " " " " " "	十九八七六五四三二 " " " " " "	一地区 " " " "	常任理事 " " " "	会計監査 " " " "	会計 " " " "	書記 " " " "	副会長 " " " "	平成二十一年度
松武大白藤浅白野福野丹野内宮杉澤 井藤野川田野井村井田羽垣藤島山田 富起淑祐喜恵百圭寿八左恵彰真卓志 子巳音美子子子美子恵子子理子子	森高川森 橋出 清良華みち 美子子子	野鷺河森 田見瀬三 八佐津智 重子子子	宮加棚高西杉 田藤橋橋野山 律美久紀峰秀 子子子子子子					
(22) 松武大白藤浅白野福野丹野内宮杉澤 井藤野川田野井村井田羽垣藤島山田 富起淑祐久津合圭寿重奈恵彰真卓志 子巳音美子子子永美子恵子子理子子	(22) 桥出 清良華みち 美子子子	(22) 高川森 田見瀬 八佐三 重子子子	(22) 野鷺河森 森 田藤瀬橋野山 清律美久 佐久美子子子	(22) 宮加棚高西杉 森 田藤瀬橋野山 久紀峰秀 佐久美子子子	(22) 野鷺河森 田見瀬 八佐津智 重子子子	(22) 野鷺河森 田藤瀬橋野山 久紀峰秀 佐久美子子子	(22) 野鷺河森 田藤瀬橋野山 久紀峰秀 佐久美子子子	平成二十二年度
(23) 田武窪加石高野梶川矢霜池植桑中松 中藤田藤丸木村田口島平戸村原島井 う起隆八代千智信好恵昌恵昭賢千貴 子巳恵江美東子子子子代子鶴子	(23) 田 中出 ゆ華みち 子子子	(23) 田 中出 ゆ華みち 子子子	(23) 田 中出 ゆ華みち 子子子	(23) 野鷺河森高森加棚高西杉 藤瀬橋野山 清美久 佐久美子子子	(23) 野鷺河森高森加棚高西杉 藤瀬橋野山 久紀峰秀 佐久美子子子	(23) 野鷺河森高森加棚高西杉 藤瀬橋野山 久紀峰秀 佐久美子子子	(23) 野鷺河森高森加棚高西杉 藤瀬橋野山 久紀峰秀 佐久美子子子	平成二十三年度
松武田渡石増河梶後今丹(24)山田河堀 野藤中辺丸田合田藤西羽口本辺崎江 節起俱待貴春友信ゆ周淳美民栄 子巳子子美枝子子子子保子子子	(24) 堀 昭子	田川森 中出 ゆ華みち 子子子	田川森 中出 ゆ華みち 子子子	田川森 中出 ゆ華みち 子子子	田川森 中出 ゆ華みち 子子子	田川森 中出 ゆ華みち 子子子	田川森 中出 ゆ華みち 子子子	平成二十四年度

創立 61 年～ 70 年にいたる役員

副会長	会記	会計	書記	会員監査	常任理事	地区長
加高西杉 藤橋野山	美紀峰秀 佐久子子子	河森田高森 瀬三中橋	棚野鷺 橋田見	川丹森 出羽	小森藤市 五井	小野松 野坂
美紀峰秀 佐久子子子	子子美 子子子子子	佐智津 智子	佐智子 智子	み久八 み重佐 子子子子	華み 淳子	久美幸和 佐歌津
森高西杉 橋野山	子子子子子 子子子子子	佐智子 智子	佐智子 智子	八さつ 子子子子	み重佐 子子子子	久美幸和 佐歌津
清紀峰秀 久美子子子	ゆ良う子子 子子子子子	三津子 智子	三津子 智子	森 瀬	森 瀬	田武山 金
高森高西杉 橋野山	子子子子子 子子子子子	佐智子 智子	佐智子 智子	川 出	内本福長 足	高小河吉 足
良清紀峰秀 久美子子子	美ゆう子子 子子子子子	三津子 智子	三津子 智子	木村	松枝尾藤 谷井屋立橋 島合村寺	松長内本福長 足
子子子子子 子子子子子	子子子子子 子子子子子	水戸	丹羽	孝子	豊	ゆ起幸節 豊
子子子子子 子子子子子	子子子子子 子子子子子	早苗				明彰美寿登 世貴代久ゆ 久き
子子子子子 子子子子子	子子子子子 子子子子子					美紀つ喜ゆ 友子巳子子
子子子子子 子子子子子	子子子子子 子子子子子					千起唄節 豊
子子子子子 子子子子子	子子子子子 子子子子子					朋友恵悦惠 百幸金澄佐喜 惠子巳子子
子子子子子 子子子子子	子子子子子 子子子子子					高森高西杉 橋野山
子子子子子 子子子子子	子子子子子 子子子子子					高森高西杉 橋野山

岐阜市金華婦人会会則

名称と事務所

第一条 この会は「岐阜市金華婦人会」と言い事務所は会長宅におきます。

目的と事業

第二条 この会は会員相互の親睦をはかり、教養を高め、人格をみがき、民主的な知識と技能を持つ婦人となり、他の関係団体等とも連絡して社会福祉につくすようにつとめます。

第三条 この会は右の目的を達成するため、次の行事を行います。

- 一、講演会、研究会、クラブ活動等
- 二、親睦をはかるための集い
- 三、健康を進めるための事業
- 四、社会福祉につくす事業
- 五、その他本会の目的を達するために必要なこと

組織

第四条 金華校下に住んでいる婦人は誰でもこの会に入ることが出来ます。

役員

第五条 この会の役員は次の通りであります。

- 一、会長 一名
- 二、副会長 三名
- 三、会計 二名
- 四、書記 二名
- 五、会計監査 二名
- 六、常任理事 若干名
- 七、地区長 十六名

第六条 地区長は各地区より一名ずつ選びます。

第七条 地区長以外の役員は地区長会で選び総会で承認します。

第八条 会長はこの会を代表して会務を総括します。副会長は会長を補佐し事故ある時は代理します。

会計は会計を処理し、書記は記録を掌り、会計監査は会計を監査します。

第九条 役員の任期は二年とします。但し補欠役員の場合は前任者の残任期間とします。

顧問

第九条 この会は地区長会の決議により顧問を置くことが出来ます。

町内委員会

第十条 町内会毎に町内委員一名を置きます。

第十一条 地区長会は地区長及び役員を以つて組織し毎月一回以上会長が招集し、次のようなことをします。
一、役員の選出 二、事業計画の立案 三、この会の事業の執行 四、予算原案の作成 五、その他必要なこと

第十二条 総会は二年一回開き次のことを行います。

一、決算の承認 二、役員承認 三、予算の審議 四、事業計画の協議決定 五、その他必要なこと
第十三条 必要があるときは臨時に地区長会又は総会を開くことが出来ます。
第十四条 会議は構成員の半数以上の出席を以つて成立し（但し総会の場合は百名以上）その過半数の賛成を得れば議決が出来ます。

会計

第十五条 この会の経費は、会費とその他をもつて充てます。会費は会員一人に付き一ヵ年二〇〇円とします。

第十六条 この会の会計は会計監査の監査を受けて総会の承認を求めます。

第十七条 この会の会計年度は毎年四月一日より翌年三月三十一日までとします。

附則

第十八条 この会の運営に必要な細則は別にこれを定めます。

第十九条 この会則の変更は地区長会で認め更に総会の承認を得て成立します。

編集後記

地域の人たちに見守られ、助けられて金華婦人会七十周年を迎えたことを感謝いたします。

七十周年に当たり、市長様はじめ多くの方からご祝辞、ご寄稿をいただきました。感謝の思いでいっぱいです。

この十年の活動を記してみましたが、いかに多くの人たちに支えられて行事を熟すことが出来たのかを思い知られます。ご一読ください

です。

これからも婦人会活動も地域の方々と共に発展していくべと願っております。
会員の皆様のご健勝を祈ります。

編集委員一同



金華婦人会七十周年記念誌

発行日 平成三十一年三月三十一日

編集者 金華婦人会

発行所 会長 杉山秀子

金華婦人会

事務所 岐阜市本町一丁目

印刷所 酒井印刷

酒井印刷

岐阜市本町一丁目

